

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【 施策名：Ⅱ 計画・設計・施工の最適化 【3】 民間技術の積極的な活用 施策12 】

新技術（函渠更正）の活用によるコスト改善

工事名：最上川上流置賜地区河川管理施設維持工事

概要：（従来）

堤防開削による函渠の補修

⇒

（新）

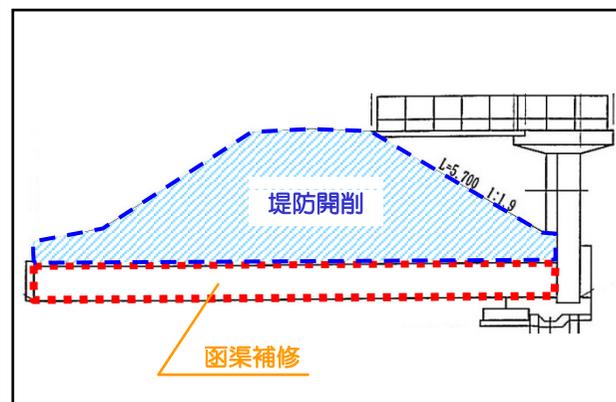
函渠内面からの補修（新技術）

効果

○従前は堤防開削により函体補修を行っていたが、内面からの補強（新技術※）によりコストを改善する。（※熱硬化性樹脂を使用した補強材を函体内面に密着させ、温水により硬化させることにより、老朽化した函渠を補修する）

■工事費を6.4百万円から1.7百万円に改善。

（改善額 4.7百万円、改善率 約73%）



堤防開削による函渠の補修



函渠内面からの補修（新技術）